

郷土の偉人



暦太郎氏の碑

鈴木暦太郎 氏 薬師町出身

鈴木曆太郎氏

鈴木曆太郎氏の略歴 明治26年9月28日生

出 生静岡県浜名郡和田村薬師612 鈴木辰五郎 五男

教育に対して大変な関心を以っておられ、特に子供達の教育に多大な尽力をされた、町の歴史に残る方
であります。和田小学校に下記内容及び項目の御寄付
をされたと記録に残っております。



曆太郎さんの碑 和田小学校南門

- ・ 和田高等小学校卒業
 - ・ 明治41年4月 和田村役場雇
同時に金原明善翁に師事
 - ・ 明治42年1月上京 丸善書店入社
 - ・ 明治44年8月日本楽器会社入社
 - ・ 大正2年1月北海道苫小牧町
王子製紙株式会社専属請負
中村土木会社入社
 - ・ 大正13年1月上京城東区現江東区南砂町
1の277番地に製材業を以って独立。
 - ・ 昭和13年3月個人営業を株式会社に変更
丸日合板株式会社を創立し合板
製造を主とし、製材を従とする。
 - ・ 昭和18年王子製紙と提携して、中国海南
島に製材工場を建設。
 - ・ 昭和20年3月10日
戦災(東京大空襲)によりすべて
を焼失。
 - ・ 昭和20年10月中野区小淀町にてペニヤ工
場再建。
 - ・ 昭和25年6月1日
前焼失地南砂町にて合板工場を
経営。
- ※本人の略歴及び職歴は本人自筆手帳より

目錄

今我日本、有史以來、非常變局、三國之大、莫不所秩序
建國、爲一、元都事變、云々大ナキ戰爭、既二、五年、且
力闘ス、殊ニ元榮アル球局ノ前途、ク實ニ迷途シテ
今又、一新タル困難ノ道ヲ示ス、世ハ衆ヲ折衝、下
令ヲ志シ、強出待テ、公益優先、高度國防國家
建設、邁進シ、アル時、第二國民、教育ノ真ニ最大
急務タル重大事業ト最推ス

小生、聞ク、出ニ、茲、三十有餘年、恰、既、二、千、六、百、年
張古ノ大典ニ、選テ、度テ、其、愛、卿、念、給、シ、難、ク、切、替、テ、
追、慕、シ、感、佩、甚、シ、ク、有、リ、青、少、年、教、育、對、後、方、ト、
數、種、ノ、報、見、識、ヲ、持、テ、テ、訓、教、目、録、ヲ、通、リ、貴、資、料、ヲ、
財、團、法、人、ニ、ヨ、リ、育、共、會、組、織、上、其、運、籌、ヲ、實、行、ス、是、端、
以、テ、御、子、弟、教、育、ニ、寄、與、セ、ン、ト、小、生、微、意、御、賢、察、ス、
上、本、日、の、建、國、ノ、爲、ノ、爲、ニ、是、法、則、ヲ、當、リ、記、ス、ト、ル
御、復、據、テ、御、報、謝、シ、賜、ハ、リ、本、會、シ、テ、益、有、共、報、願、實、ニ、
給、ハ、シ、レ、コ、ト、カ、世、ヲ、護、ン、テ、起、意、書、リ、奉、呈、ス、

昭和十六年紀元、佳節に當り

於東京

紫雲寺

和 田 村 長 渡 瀬 暗 古 殿
和 田 小 學 校 長 相 本 忠 殿

金五萬圓也

但此財團法人之設立實集資金

肉
部

金壹萬圓也

昭和十六年三月十一日現在より以上

金四萬圓也

昭和十七年、昭和二十年迄四年間
毎年二月十一日配元、往時即、當り
金壹萬圓交現金、以テ納付ス。

右之通り

昭和十六年二月十一日

者

齊名勝天

訓子 鈴木辰男 (4)

薬師町(和田村薬師)に生れ、和田村の役場に務める傍ら金原明善翁に師事、和田高等小学校を卒業後、16歳で上京。種々々の会社を設立、経営、傍ら子供達への教育に対して多大な寄付(教育資金、教材)を和田小学校(和田村薬師)にされている。

- ・大正11年 小傘 100本
- ・昭和11年 国旗掲揚鉄柱、電気時計
- ・昭和15年 軍艦模型

(朝霧, 伊号71号, 那智, 加賀, 長

門) 門)

- ・昭和17年 左記趣意書による
金 五萬圓
- ・昭和17年 ラッパ鼓隊一式19人組
- ・昭和26年 応接テーブル
- ・昭和31年 楽器8点(15万円相当)
- ・昭和32年 17インチ テレビ1台
- ・昭和33年 和田小85周年記念
金壹百萬円



薬師町 田島昭次

歴史に残る人々

小枝条次郎 (小枝来舗) 金原明善 高柳健次郎

杉浦睦夫 鈴木暦太郎 大橋島太郎 石山脩平

その他和田地区の偉人をご存知の方ご一報ください

090-8671-6548 田島

平成四年四月吉日建
鈴木暦太郎氏の
遺徳を偲ぶ記念碑
明治三十九年本校高等科第二学年修業
昭和十六年三月五日学生会 創設者

明治39年 高等を廃止。
義務教育 6年となり
和田尋常学校と称す。
与進小学校高等科に2年間
通い第2学年を修業。

和田地区偉人 R-5

次回 杉浦睦夫氏予定